

北海道立図書館報

No.218

2025.3.28



昨年に引き続き、紀伊國屋書店札幌本店などで出張利用登録会を開催し、全道から多くの方にご来場いただきました。詳細は特集1をご覧ください。

目次

- ▶ 特集1 「出張利用登録会」・・・・・・・・・・・・・・・・ 1～2
- ▶ 特集2 「一般資料閲覧室をリニューアルしました」・・・・・・・・ 3
- ▶ 長寿命化工事が終了しました・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- ▶ 活動報告1 「連携展示」・・・・・・・・・・・・・・・・ 5～6
- ▶ 活動報告2 「展示を振り返って」・・・・・・・・・・・・・・・・ 7～8
- ▶ 活動報告3 「北方資料利用講座『北海道の妖怪・怪異譚の調べ方』」・・・・・・・・ 9
- ▶ 活動報告4 「研修事業」・・・・・・・・・・・・・・・・ 10～12
- ▶ 活動報告5 「令和6年度図書館地区別（北日本）研修」・・・・・・・・ 13～15
- ▶ 令和6年度北海道立図書館協議会・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
- ▶ 令和6年度（2024年度）
全国優良読書グループ表彰・優良読書グループ北海道表彰・・・・・・・・ 17
- ▶ 令和6年度（2024年度）下半期の事業一覧・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
- ▶ 令和7年度（2025年度）事業計画・・・・・・・・・・・・・・・・ 19

出張利用登録会

令和4年4月からスタートした電子図書館サービスの利用を促進し、より幅広く道民に当館を活用してもらうことを目的に、道立図書館職員が道内書店、市町村立図書館、大学等で、出張利用登録会を実施しました。

期 日：令和6年（2024年）10月6日（日）

会 場：紀伊國屋書店札幌本店 1階 インナーガーデン

昨年につき、利用登録コーナーと電子書籍体験コーナーを併設し、出張利用登録会を行いました。利用登録コーナーでは、115名の登録がありました。

また、電子書籍体験コーナーでは、紀伊國屋書店社員によるKinodenの使い方の説明も行い、登録して作成したカードを使い、実際の操作方法を聞いている方が多く見られました。

期 日：令和6年（2024年）10月27日（日）

会 場：石狩市民図書館 1階 エントランス

第21回石狩市民図書館まつりのコーナーの一つとして、出張利用登録会を実施しました。当日は35名の登録がありました。

また、来場者に向けて、電子図書館や当館の利用促進を兼ねたPRも行いました。



紀伊國屋書店札幌本店での様子



石狩市民図書館での様子

期 日：令和6年（2024年）12月18日（水）

会 場：北海道大学附属図書館

正面玄関ロビーに利用登録コーナーと電子書籍体験コーナーを開設し、89名の登録がありました。

北大生のほか、図書館を利用してきた一般の方の来場もありました。利用登録をした後は、紀伊國屋書店社員によるKinoDenの使い方の説明を熱心に聞かれていました。



北海道大学附属図書館での様子

（一般資料サービス課）

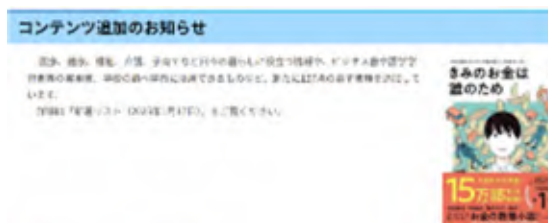
○電子図書館に新たなコンテンツを追加しました

令和7年1月、医療、健康、介護など日々の暮らしに役立つ情報や、ビジネス書など、新たに137点の電子書籍を追加し、合計7,137点が閲覧できるようになりました。

追加コンテンツの一覧は、現在ホームページ内の「サービス案内」>「電子図書館」ページに、「新着リスト（2025年1月17日）」として掲載しています。（追加コンテンツも含めた7,137点のタイトルは、「電子書籍全点リスト」で確認できます。）

また、一部資料については「電子図書館（KinoDen）」トップページに書影を掲載しています。ぜひ、皆様の本棚としてご活用ください。

なお、今年度は3月末にもう一度追加を予定しています。



「電子図書館（KinoDen）」トップページ 新着資料



ホームページ「電子図書館」内追加コンテンツ一覧



電子図書館のページ

（資料整備課）

一般資料閲覧室をリニューアルしました

【ビジネスコーナー】

2階一般資料閲覧室内で展開している「ビジネスコーナー」が、長寿命化工事に伴うリニューアルの一環として、見出しと分類を一新し、より利用者の皆さまにわかりやすいコーナーに生まれ変わりました。

また、レイアウトの変更に伴い、展示コーナーをビジネス関連雑誌架に移設しました。

ビジネスコーナーの資料は、一部を除き貸出可能です。幅広いテーマを取り揃えていますので、皆さまのお仕事にぜひご活用ください。



【りんごの棚（旧バリアフリー資料コーナー）】

バリアフリー資料コーナーから名称が新たに生まれ変わりました。

「りんごの棚」は、スウェーデンでスタートした、特別なニーズのある子どもたちのためのアクセシブルな本を展示した棚のことですが、当館の「りんごの棚」では大人向けのものも含め、次のような本を集めました。

- ・マルチメディアDAISY（音声と一緒に文字や画像が表示されるデジタル図書）
- ・LLブック（やさしい言葉や絵文字で読みやすく工夫された本）
- ・ユニバーサルデザイン絵本（点字絵本、さわる絵本、手話付き絵本 など）

絵に触り心地の違う素材が組み込まれていたり、点図や立体コピーで絵が描かれていたり、障がいの有無に関わらず全ての人が楽しめる本です。ぜひ一度実際に手に取ってみてください。

（一般資料サービス課）

長寿命化工事が終了しました

今年度実施していました長寿命化工事については、令和7年(2025年)3月をもって完了しました。
利用制限期間中は、皆様のご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。
引き続き、北海道立図書館を末永くご利用くださるようお願いいたします。

○工事によって変化した点

- ・蛍光管をLED照明へ取り替え
- ・トイレの便器を全て洋式トイレへ取り替え
- ・空調機器の取り替え（冷房が入るようになりました）

※その他

水道管・電気設備・ダクト設備を新しいものへ交換、正面玄関（床タイル・スロープ）の改修など



↑LED照明となり明るくなりました

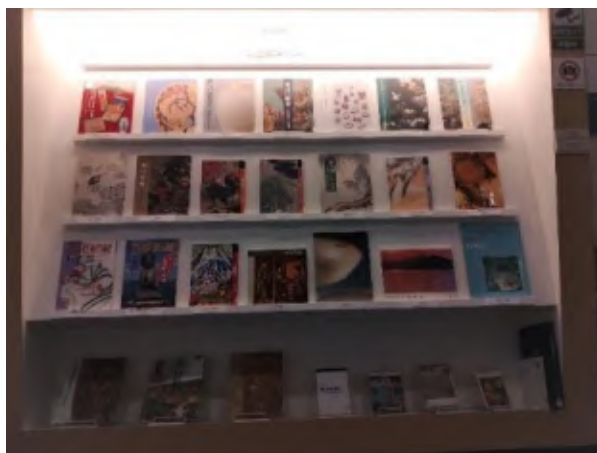
(管理課)

連携展示

令和6年度は長寿命化工事のため、当館内での資料展示ができない期間がありましたが、他機関との連携による展示は例年に引き続き行い、多くの方にご覧いただきました。ここでは令和6年9月以降に道立他機関と連携した展示をご紹介します。

【道立図書館・道立美術館連携展示】

道立図書館・道立近代美術館相互の利用者サービスの向上を図るため、近代美術館で開催する展覧会に併せて、平成30年度から美術館内の特設コーナーで当館の蔵書を紹介しています。特別展「皇居三の丸尚蔵館展 皇室の至宝」(令和6年9月21日(土)～10月27日(日))では、三の丸尚蔵館の展示目録や展示資料に関する図書・雑誌を展示しました。特別展を鑑賞された幅広い世代の方々にご覧いただきました。



【道立図書館・道議会図書室連携展示】

当館と道議会図書室の連携事業のひとつとして、今年度も「コーナー展示 新着図書+ (プラス)」を実施しました。道議会図書室で毎月購入する新着図書に関連する分野の当館所蔵図書を展示し、議員や道職員には貸出しも行いました。なお、展示リストは当館ホームページのインフォメーション「展示」>「北海道議会図書室連携展示」から見るすることができます。

展示以外にも、資料の所蔵調査やレファレンス等への協力を通じて、道議会図書室と一層の連携を深めた一年でした。



北海道議会図書室連携展示のページ

【道立図書館・かでの2・7連携展示】

北海道立道民活動センタービル（かでの2・7）9階のまなびの広場において、昨年度に続いて、道民カレッジのインターネット講座のテーマに連携して、より学びを深め、探求するための資料として、各回10冊程度当館から貸出しを行い、展示に協力しています。

令和6年9～10月は「半導体について」、11～12月は「北海道の自然」、令和7年1～2月は「鉄道」がテーマでした。



9～10月「半導体について」



11～12月「北海道の自然」

(一般資料サービス課)

【北海道立文書館連携展示「しばれる北海道～冬をのりきる～」】

令和6年12月1日(日)～令和7年2月27日(木)の期間、北方資料展示コーナー、北海道立文書館展示コーナー及び北方資料閲覧室において、「北海道立文書館連携展示『しばれる北海道～冬をのりきる～』」を実施しました。

長い冬、北海道に暮らす人々は雪や寒さを耐え忍び、厳しい季節を乗り切る生活の知恵を数多く編み出してきました。この展示では、「北海道の冬の暮らし」、「冬を温める」、「雪とつきあう」、「寒さをたのしむ」という4つの小テーマを設け、暖房器具や防寒具、除雪などに関する資料、寒さや大雪対策についての資料、雪戦会やしばれフェスティバルなどの冬ならではの娯楽に関する資料など、図書館・文書館が所蔵する「冬」「寒さ」に関する資料を展示しました。



(北方資料サービス課)

展示を振り返って

道立図書館では日常の課題解決になる本や利用者の注目の高い本を司書が選び、展示しています。ここでは令和6年12月以降の展示をご紹介します。

【一般資料閲覧室】

○重点収集資料展示「毎日がちょっとラクになる本」

期 間：1月11日（土）～2月27日（木）

当館では、各分野にわたって広範囲に資料を収集していますが、特に、道民生活や地域の課題解決に役立ち、関心の高い「生活の支援」「仕事の支援」「安全・安心の支援」の3つのテーマを「重点テーマ」として設定し、資料を収集しています。



今回は、「毎日がちょっとラクになる」と題し、重点収集した資料の中から、未来、からだ、仕事の「ラク」につながるヒントが見つかった本、約100冊を展示しました。

100冊のうち、小・中学生にもおすすめしたい22冊は、他の資料と分けて展示することで、子どもたちが手に取りやすいようにしました。

また、「かるちやる通信」(江別近郊エリアの博物館等のかるちやる net 各施設のイベント情報を掲載するニュースレター)への掲載やSNSでの発信を行い、PRに努めました。

(資料整備課)

○「どんとこい！ 文学」

期 間：12月1日（日）～12月26日（木）

長寿命化工事で閲覧室が閉まっていた間に整備した多くの文学書。人気の小説から、エッセイまで「どんとこい！」のかけ声のもとで、一挙に展示、貸出しました。



○「大河ドラマ「べらぼう」その時代」

期 間：12月28日（土）～2月27日（木）

令和7年の大河ドラマの主人公は江戸の出版人、蔦屋重三郎。ドラマの放送にあわせて江戸の出版文化や風俗、蔦屋重三郎や周辺の人物に関する本を展示しました。



【ビジネスコーナーPickUp!】

2階ビジネスコーナーでは「ビジネスコーナーPickUp!」と題して、仕事に役立つ資料を紹介する、ミニ展示を実施しています。

12月から3月は「今こそ知りたいカスタマー・ハラスメント」のテーマで、接客対応やカスタマー・ハラスメントに関する本を展示しました。



【えほんコーナー】

○【好評につき期間延長】

「さわってあそべる! わくわく絵本」

期 間: 12月1日(日) ~ 12月26日(木)

めいろ絵本やトリックアート絵本、探し絵本、しかけ絵本など、読んで遊んで楽しめる様々な絵本を集め、展示しました。



○「ふゆとゆきの世界」

期 間: 12月28日(土) ~ 3月27日(木)

見る人をふゆとゆきの世界へと誘い、冬の冷たい空気や雪の中で輝く新しい発見をもたらすような、小さな子どもから大人まで楽しめる冬と雪がテーマの絵本を150冊展示しました。



(一般資料サービス課)

北方資料利用講座「北海道の妖怪・怪異譚の調べ方」

北方資料利用講座は、北方資料室の資料を利用した調べ物の方法を紹介する講座です。今年度は、北海道に伝わる妖怪・怪異譚の調べ方をテーマとしました。これまで、こうした講座は館内で行ってききましたが、今年度は改修工事のため、YouTubeでの動画配信形式で実施し、動画2本を配信しました。

1本目の動画は、「インタビュー編」と題し、怪異妖怪研究家・作家の朝里樹（あさざと・いつき）さんにインタビューをしました。朝里さんは、『日本現代怪異事典』（笠間書院、2018年）を始め、これまで20冊以上の妖怪事典や著作を発表されてきた、妖怪譚の専門家です。北海道の妖怪についても詳しく、『日本怪異妖怪事典 北海道』（同、2021年）を手掛けられています。動画前半では、北海道の怪異妖怪譚の特徴や、時代の移り変わりによる妖怪の変化について伺いました。朝里さんによると、北海道には、アイヌの伝承の妖怪が多く伝わる一方で、明治以降の移住に伴い、河童や天狗など、本州以南の妖怪も伝わっているとのこと。「人と一緒に妖怪が渡ってきた」のが北海道の妖怪譚の特徴だと朝里さんは言います。後半では、朝里さんの研究生生活についても伺いました。公務員の仕事の傍ら研究・執筆を行う朝里さんですが、仕事がある日も含め、毎日、書くことは欠かしません。寝る時間も含めて、計画的に行うことが大事だと言います。また、資料集めには地域の図書館や道立図書館も利用されるとのことで、資料の性質や調査の目的に合わせて、書店や図書館を使い分けられているそうです。

動画2本目では、「調べ方講座編」と題し、北方資料室職員が、北海道の怪異妖怪譚の調べ方を紹介しました。妖怪に関する資料は、図書、雑誌、新聞など多様な形態があり、図書館で一般的に使用されている日本十進分類法の観点でも、民俗、宗教、歴史、文学など、複数の分類にまたがっています。そのため、妖怪を調べる時は、調べたい内容に合わせて資料を使い分けるのが大切です。

動画では、様々な妖怪事典や索引等の具体的な資料のほか、図書館の蔵書検索機能やインターネットのデータベースの使い方や、調査の例として、函館に伝わるという幽霊「まつごろう」の事例も紹介しています。動画は講座終了後も当面の間視聴することができます。ぜひご覧ください。



インタビュー編



調べ方講座編

(北方資料サービス課)

研修事業

【令和6年度市町村図書館職員レファレンス体験研修】

レファレンスサービス（参考調査）は、図書館資料をはじめとしてインターネット等の外部情報などさまざまな情報を駆使して、多様な住民ニーズに応じていくという、貸出しと並ぶ図書館サービスの柱です。

当館では、レファレンス・スキルの向上を図り、関係機関との連携を深めることを目的とし、市町村図書館職員の経験や希望に基づいたオンデマンド形式の「市町村図書館職員レファレンス体験研修」を実施しています。

令和6年度（2024年度）は長寿命化工事期間に係る利用制限に伴い、例年より規模を縮小しての実施となりましたが、京極町生涯学習センター湧学館、釧路町公民館せちり図書室、平取町立図書館、浦幌町立図書館、北見市立中央図書館、中標津町図書館の1市5町、7名の方に受講いただきました。



（一般資料サービス課）

【令和6年度（2024年度）全道図書館専門研修〈地域資料〉】

地域資料は、地方公共団体の刊行物以外にも、地域の機関や団体、個人が発行するチラシ類や写真、映像資料等多岐にわたります。令和6年度は「わがまちの『今』を伝える 地域資料を集める・活用する」をテーマに研修会を開催しました。

■期 日：10月18日（金）

■会 場：旭川市中央図書館

■参加人数：32名

■内 容：

講義「地域資料のS・H・Kから5原則へ」

北海道立図書館北方資料サービス課 主任 宮本 浩

事例発表「地域資料は“箱資料”で」

網走市立図書館 司書 永吉 くみ 様

講義・資料見学「旭川市図書館の地域資料」

旭川市中央図書館 奉仕係主査 谷野 弘幸 様

旭川市中央図書館 奉仕係主査 富田 千尋 様

網走市立図書館から図書以外の簡易な資料の整理・保存方法として実施している「箱資料」の事例発表を、旭川市中央図書館から地域資料の収集範囲・対象等の講義と書庫を含む館内見学を実施いただきました。

■事後アンケートから

- ・箱を用いた保管事例を詳しく知ることができてよかったです。当館の郷土資料の保管にも参考とさせていただきます。
- ・館内見学でさまざまな取組みを知り、特に書架は参考にしたい工夫が多々ありました。



【令和6年度（2024年度）全道図書館専門研修〈修理・製本〉】

図書館資料は、多くの利用や経年劣化により、破損していきます。適切に対処するためには、本の構造の理解、破損原因の把握、道具や材料に関する正しい知識などが必要です。

本研修では、図書館における「利用のための資料保存」の考え方を確認しながら、講義・実習を通じて修理の方法を学びました。

■期 日：12月12日（木）～13日（金）

■会 場：北海道立図書館 1階研修室

■参加人数：17名

■日 程：

【1日目】

講義「東京都立図書館における資料保存の取り組み」

東京都立中央図書館 資料修復専門員 鞭馬 裕次郎 様

情報交換・演習「地域に資料修理の知識と技術を広めるために」

東京都立中央図書館 資料修復専門員 鞭馬 裕次郎 様

北海道立図書館総務企画部企画支援課 主任 畑中 ゆい

【2日目】

講義「資料保存と修理の基本的な考え方」



演習「ページ破れ・ページの差し込み、ハードカバーのノドと背の修理」

日本図書館協会資料保存委員会委員

宮内庁書陵部 佐々木 紫乃 様

■内 容

1日目の講義「東京都立図書館における資料保存の取り組み」は、都立図書館の紹介と講師が所属する資料保全室の業務や活動の実態についての説明にはじまり、「脱酸処理」「カビ被害防止対策」など8つの保存対策について詳細に解説がありました。スライドでの説明の合間には、資料保全室のHPや、資料保全室の様子を映し出すYouTube上の動画も用いられました。



グループワークの様子

2日目の講義「資料保存と修理の基本的な考え方」は「利用のための資料保存」をテーマに、修理することを目的とするのではなく、「そもそもなぜ修理が必要なのか」という考え方を確認するとともに、修理はできればしないことを基本として、利用に耐えうる最小限の修理方法、基本的な紙・本の構造などについて解説がありました。



修理演習の様子

演習「ページ破れ・ページの差し込み、ハードカバーのノドと背の修理」では、会場前方に講師の机を設置し、その周りに参加者が集まって直接講師の手元の修理技術を確認してから各々同じように修理する、という流れを繰り返し行いました。演習中は講師のほか運営者も机間を巡回し、作業の進捗状況を見ながら演習途中や最後に質疑応答の時間を多く設けました。修理道具類については参加者が持参したもののほか、一部は日本図書館協会から借用したものを使用しました。

また、情報交換・演習「地域に資料修理の知識と技術を広めるために」では4～5人のグループに分かれ、本研修の受講要件としていた資料保全の普及・啓発活動について話し合う時間を設定しました。啓発活動案について、他館（室）の情報も参考にしながら検討するためのグループワークを行い、演習の最後には話題に挙げた事項や他のグループにも共有したい事項などについて、4グループから発表がありました。また、演習中は講師がアドバイザーとして机間巡回を行い、最後に総括的な助言も行いました。

■事後アンケートから

- ・修理以前の資料保存の考え方を体系立てて学ぶことができ、大変勉強になりました。
- ・資料に人の手を加えることを最小限にするためにも、修理は必要なのか判断する力を養っていきたいと感じました。

(企画支援課)

令和6年度図書館地区別(北日本)研修

主催 文部科学省 北海道教育委員会 共催 北海道図書館振興協議会

主管 北海道立図書館

本研修は、文部科学省が図書館法第7条の規定に基づき、情報化の進展など図書館に関する最新のテーマや地域における課題等について研修を行い、図書館における中堅の司書としての力量を高めることを目的とした研修です。

全国6ブロック（北日本、関東・甲信越静、東海・北陸、近畿、中国・四国、九州・沖縄）で実施され、令和6年度の北日本地区は、北海道教育委員会が委嘱を受け、日頃、道立図書館と研修事業を共にする北海道図書館振興協議会が共催、道立図書館が主管となり、札幌市中央図書館を会場に、4日間の日程で実施しました。

参加人数は、70名で、うち会場参加は16名、オンライン参加はのべ54名、事後レポートの提出は23名となりました。研修日程は次のとおりです。

■日 程

【第1日】11月19日(火) 13:30 ~ 16:30

13:00 13:30 13:45 14:15 14:30 16:30

	受付	開講式	文科省 行政説明 「図書館行 政の動向」	休憩	① 基調講演 「図書館の現状と課題」 (池内 淳様)
--	----	-----	-------------------------------	----	----------------------------------

【第2日】11月20日(水) 9:30 ~ 16:55

9:30 10:40 10:55 12:25 13:25 14:35 15:55 16:55

① 講義 「学校図書館 とICT」 (佐藤 敬子様)	休憩	② 講義 「図書館にお ける多文化サー ビス」 (阿部 治子様)	昼食・ 休憩	③ 講義 「博物館にお ける地域資料収 集：事例と課題」 (持田 誠様)	移動	④ 施設見学 札幌市図書・情報館 (札幌市図書・情報 館職員)
-------------------------------------	----	--	-----------	--	----	--

【第3日】11月21日(木) 10:00 ~ 16:15

10:00 10:45 11:00 12:00 13:00 14:30 14:45 16:15

⑤ 事例発表 「図書館を『目的 地』にする仕掛け ～図書・情報館の事 例から～」 (船木 沙織様)	休憩	⑥ 演習・意見交換 「自館のサービス 向上を考える」 (安本 朋幸様)	昼食・ 休憩	⑦ 講義 「居場所としての図書 館づくりに向けた新 設・既存施設のリニュー アル」 (中井 孝幸様)	休憩	⑧ 事例発表 「つながる図書館 ～滝川市立図書館の 連携事例～」 (深村 清美様)
--	----	--	-----------	---	----	---

【第4日】 11月22日（金） 10：00 ～ 12：30

10：00 11：00 11：15 12：15 12：30

⑨ 講義 「わかりやすい表現で サービスを届けよう」 (打浪 文子様)	休憩	ワークショップ 「わかりやすい表現で サービスを届けよう」 (打浪 文子様)	閉講式
--	----	---	-----

■内 容

基調講演のテーマを「図書館の現状と課題」とし、全体をとおして、現在図書館が抱えるさまざまな課題を意識すること、その解決に繋がる知識や経験を積むことを考える研修となるよう構成しました。

情報化の只中にある学校図書館とICTの関係、近年、増加が著しい言語的・文化的マイノリティである外国人住民への多文化サービス、居場所としての図書館づくりを施設・設備の視点でとらえた講義など実施しました。中でも、「はたらくをらくにする」をコンセプトに掲げ、ビジネスパーソンを支援し、課題解決に役立つサービスと展開する札幌市図書・情報館の見学と事例発表に、受講者は大いに刺激を受けた様子でした。それらを受けて自館のサービス向上を考える演習・意見交換では、熱心にグループ討議をし、各自の事後レポートの内容として取り上げている受講者も多くいました。



また、読書バリアフリーの観点から、わかりやすい言葉や表現で図書館サービスを届ける事をテーマにした講義・演習では、道立図書館の利用案内パンフレットを題材に、伝わりやすい表現や改善のポイントなどについて理解を深めたようでした。

事後アンケートでは、「4日間と長い期間でしたが、普段考えることのない発想や視点を得ることができた。この学びを自館の活動や運営にも生かしていきたい。」「日常業務で参考になるような事例やお話がたくさんあったので、研修終了後は職員で情報共有しながらサービスの向上に努めたい。」などの感想が寄せられました。

■オンラインでの研修について

本研修は、会場とオンライン（Zoom）のハイブリッドで実施しました。オンラインに対応したことで、部分参加も含め、広い地域で多くの方に参加していただけたと感じています。事後アンケートでは、「冬季期間中はオンラインで受講できるととても助かった。」「オンラインで参加することができ、大変良かった。」などの感想をいただいた一方、「音声が聞きにくい部分があった。」「画面酔いしてしまった。」などのご指摘もあり、オンライン研修を運営する際の、技術的な研鑽の必要性を感じました。

■会場参加の様子



（企画支援課）

令和6年度北海道立図書館協議会

今年度の北海道立図書館協議会については、次のとおり開催しました。

・第1回 8月8日(木)

北海道立教育研究所 大講義室 出席委員 8名

議 題 令和5年度業務実施状況(最終報告)について 他

・第2回 12月20日(金)

北海道立図書館 研修室 出席委員 9名

議 題 会長及び副会長の選出について

令和6年度業務実施状況(中間報告)について 他

・第3回 3月7日(金)

北海道立図書館 研修室 出席委員 8名

議 題 令和7年度北海道立図書館運営計画(重点計画)について 他

今年度は図書館協議会委員の改選期となっており、令和6年11月1日から令和8年10月31日までの2年間に任期として、各関係団体等の推薦及び公募により10名の方に委員に就任いただきました。

なお、今回の改選により、4名の委員が新しく就任されております。

協議会に関する情報をホームページに掲載していますので、是非ご覧ください。

道立図書館ホームページトップページ>道立図書館とは>北海道立図書館協議会



(管理課)

**令和6年度（2024年度）
全国優良読書グループ表彰・優良読書グループ北海道表彰**

北海道読書推進運動協議会

全国的な読書活動を進めている（公社）読書推進運動協議会では、11月3日（文化の日）を中心に「読書週間」を定め、事業の一つとして、優れた読書活動を行う地域グループを表彰する「優良読書グループ表彰」（全国表彰）を行っています。

北海道読書推進運動協議会においては、本を読む楽しさを広め、地域文化の向上に貢献する読書グループの事績を称え、全国表彰への推薦と併せて独自に北海道表彰を行っており、今年度は次のとおり決定しました。

■ **全国表彰（1団体）**

- ・よみきかせの会☆星の子
（白糠町 昭和58年設立）

■ **北海道表彰 本賞（4団体）**

- ・恵庭市図書館ボランティア 黄色いエプロンの会（恵庭市 平成11年設立）
- ・でんでんむしサークル（苫小牧市 平成23年設立）
- ・おはなし会 きらら（北斗市 平成18年設立）
- ・たかすぶっくクラブ（鷹栖町 平成22年設立）

■ **北海道表彰 奨励賞（1団体）**

- ・ところころりん（北見市 令和5年設立）

受賞グループの詳細については、北海道読書推進運動協議会発行の『北読進協だより』第45号に、受賞グループによる活動紹介を掲載しています。『北読進協だより』は当館ホームページからご覧いただけます。

道立図書館ホームページトップページ>図書館の方へ>北海道読書推進運動協議会



（企画支援課）



2024・第78回読書週間ポスター
（公益社団法人読書推進運動協議会）

令和6年度（2024年度）下半期の事業一覧

	事業名	開催日	開催場所	概要	参加人数	備考
1	道立図書館・かでの2・7連携展示事業	令和6年8月～令和7年2月	札幌市 (かでの2・7)	道民カレッジのインターネット講座のテーマに合わせて展示		
2	北海道立図書館・北海道立近代美術館連携事業	①9月21日(土)～10月27日(日) ②1月5日(土)～3月16日(日)	札幌市 (北海道立近代美術館)	相互の利用者サービスの向上を図るため、道立近代美術館で開催する展覧会に連動し、特設コーナーを設けて道立図書館の蔵書を紹介 ①「皇居三の丸尚蔵館展 皇室の至宝」 ②「星の瞬間」		
3	北海道立図書館利用登録会	①9月8日(日) ②10月6日(日) ③10月27日(日) ④10月13日(金) ⑤12月18日(水)	①新札幌サンピアザ光の広場 ②紀伊國屋書店札幌本店 ③石狩市民図書館 ④北海道立埋蔵文化財センター ⑤北海道大学附属図書館	電子図書館や当館の利用促進のPRを兼ねた出張利用登録会	①10名 ②115名 ③35名 ④4名 ⑤89名	人数は登録者数
4	全道図書館専門研修〈地域資料〉	10月18日(金)	旭川市 (旭川市中央図書館)	道内公立図書館(図書室)職員、市町村教育委員会職員、学校図書館関係者向け研修	32名	テーマ:「わがまちの『今』を伝える 地域資料を集める・活用する」
5	北方資料利用講座「北海道の妖怪・怪異譚の調べ方」	10月31日(木) 配信開始	(道教委公式YouTubeで配信)	怪異妖怪愛好家作家の朝里樹氏に、北海道の妖怪の特徴や妖怪について調べるコツ・面白さをインタビューした「インタビュー編」と、当館職員が図書館で妖怪について調べる方法を紹介した「調べ方講座編」の2動画を公開	-	
6	北海道図書館振興協議会第2回理事会・全道図書館長会議	11月1日(金)	札幌市 (札幌市中央図書館)	北海道図書館振興協議会理事会、館長会議、講話	32名	講話:「地域づくりにおける図書館の役割」 講師:齋藤仁史氏(北星学園大学准教授)
7	北日本地区別研修 ※全道図書館中堅職員研修と兼ねて開催	11月19日(火)～22日(金)	札幌市 (札幌市中央図書館)	北海道及び東北6県の公立図書館職員または同等の業務に従事する職員で、勤務経験が概ね通算3年以上の職員向け研修	70名	文科省委嘱事業
8	北海道立図書館・北海道立文書館連携展示「しぼれる北海道～冬をのりきる～」	令和6年12月1日(日)～令和7年2月27日(木)	北海道立図書館 北海道立文書館	北海道の長い冬、北海道に暮らす人々が厳しい季節を乗り切るために編み出した数多くの生活の知恵を、特に「冬」「寒さ」にスポットを当て、図書館・文書館の所蔵資料から紹介	-	
9	全道図書館専門研修〈修理・製本〉	12月12日(木)～13日(金)	北海道立図書館	道内公立図書館(図書室)職員、市町村教育委員会職員、学校図書館関係者向け研修	17名	テーマ:「基礎から学ぶ!資料保存と本の修理」
10	令和6年度第2回北海道立図書館協議会	12月20日(金)	北海道立図書館	会長及び副会長の選出、令和6年度業務実施状況(中間報告)など	11名	
11	全道図書館専門研修〈レファレンス〉	1月24日(金)	オンライン (Zoom開催)	道内公立図書館(図書室)職員、市町村教育委員会職員、学校図書館関係者向け研修	45名	テーマ:「今すぐ使える、レファレンスサービス」
12	令和6年度第3回北海道立図書館協議会	3月7日(金)	北海道立図書館	令和7年度北海道立図書館運営計画(重点計画)など	20名	
13	道議会図書室・道立図書館連携展示事業	毎月、道議会図書室の新着図書紹介と合わせて実施	札幌市 (北海道議会図書室)	関連する分野の道立図書館所蔵資料を「新着図書+(プラス)コーナー」として展示		

令和7年度（2025年度）事業計画

月	上 旬	中 旬	下 旬
4			子ども読書の日（23日） こどもの読書週間（23日～5月12日） 北図振 第1回理事会・総会（25日 札幌市） こどもの読書週間関連事業（下旬～5月上旬） 図書館記念日（30日）
5	図書館振興の月 北図振 管内図書館振興協議会等地方研究集会（5月から2月 各管内で開催）		北読進協 総会（札幌市）
6		日図協 公共図書館部会総会（東京都） 北図振 全道図書館新任職員研修会（12日～13日 江別市） 北日図連 総会・第1回理事会（18日 秋田県） 北日図連 北日本図書館大会（18日 秋田県）	全公図 定期総会（東京都） 図書館総合展（オンライン21日～7月4日） 第1回北海道図書館連絡会議
7		全道図書館中堅職員研修会（10日～11日 江別市）	北図振 「北海道図書館関係職員録」発行
8	第1回北海道立図書館協議会 子ども向け書庫ツアー		書庫ツアー
9		北図振 第65回北海道図書館大会（11日～12日 札幌市）	
10	北日図連 北日本図書館連盟研究協議会（3日 福島県）	北図振 全道図書館専門研修〈子ども読書〉（17日 帯広市）	北図振 「北海道の図書館ー令和7年4月1日現在ー」発行 図書館総合展（22日～24日 神奈川県） 日図協 全国図書館大会（30日～31日 愛媛県）
11	北方資料利用講座 北読進協 優良読書グループ表彰 北図振 第2回理事会・全道図書館長会議（14日 札幌市） 図書館総合展（オンライン 10日～23日）		文科省 図書館地区別（北日本）研修（山形県） 第2回北海道図書館連絡会議
12	日図協 全国公共図書館研究集会（サービス、総合・経営部門）（1日～2日 静岡県） 北学図 青少年読書感想文全道コンクール及び北海道指定図書読書感想文コンクール表彰式（札幌市）	全道図書館専門研修〈企画広報〉（11日～12日 江別市） 第2回北海道図書館協議会	
1	北学図 北海道学校図書館研修講座		全道図書館専門研修〈地域資料〉（オンライン 23日）
2			北日図連 第2回理事会
3		第3回北海道立図書館協議会	

<凡例>

- ・北図振・・・北海道図書館振興協議会
- ・北日図連・・・北日本図書館連盟
- ・北読進協・・・北海道読書推進運動協議会
- ・北学図・・・北海道学校図書館協会
- ・日図協・・・日本図書館協会
- ・全公図・・・全国公共図書館協議会

北海道立図書館報 第218号

令和7年(2025年)3月28日発行

北海道立図書館長 堀籠康行

〒069-0834 江別市文京台東町41番地

TEL: 011-386-8521 (代表)

ダイヤルイン

386-8531 (総務企画部)

386-8522 (一般資料室)

386-8523 (北方資料室)

FAX: 011-386-6906

E-mail: support@library.pref.hokkaido.jp

ホームページ: <https://www.library.pref.hokkaido.jp>